

チャレンジアップ成功体験記

【資格取得部門】2020年 3月受賞 五十嵐瑛さん
業績：応用情報技術者試験合格

Q.1 応用情報技術者試験にチャレンジしたきっかけを教えてください。

高校の頃、先生にすすめられて取得したITパスポートをきっかけに、大学1年生の時に基本情報技術者試験を取得して、応用技術者試験も合格する自信があったからです。

Q.2 合格までの道のり(受験対策など)を教えてください。

インターネットの「応用情報技術者試験ドットコム」に記載されている過去問をとにかく解きまわりました。正誤関係なく、全ての問題の解説を読むことが大事だと思います。

試験は、午前と午後に分かれているのですが、午前に出題される小問題については、インターネットに掲載されている解説で十分理解できました。午後に出題される長文問題は、本の方が詳しく解説されているので、大学の図書館にある参考書を見て理解を深めました。

Q.3 資格取得の勉強のモチベーションはどのように維持しましたか？

大学2年生ときに教育センターの渡邊先生から、応用情報技術者試験を受ける学生は少ないと聞いて、それならまずは自分が取ろう、という気持ちで勉強しました。

Q.4 五十嵐君は就職先が決まったそうですが、実際に就職活動をしてみてどうでしたか？

IT系の企業を6、7社くらい受けたのですが、半部くらいの会社から履歴書を見て「応用情報技術者試験を持っているなら大丈夫だね。」と言われました。学生のうちに応用情報技術者試験を取得する人は少ないそうなので、この資格のおかげで、IT系企業からだいぶ評価してもらえたと感じています。また、県外での就職を希望している場合、大学名のブランド力は正直ないので、勉強してきたことを客観的に伝えられる資格は大事ということも工科大生に知って欲しいです。

Q.5 次に目指している資格とその内容を教えてください。

在学中もしくは、就職後にネットワークスペシャリストを取得したいと考えています。ネットワークスペシャリストは、応用情報技術者試験よりも上位の資格で、ネットワーク技術やネットワークサービスに関する知識・実践能力が必要とされる資格です。

Q.6 応用情報技術者試験を目指している学生にアドバイスをお願いします。

ITパスポート、基本情報技術者試験を合格してからだと、応用技術者試験の問題は理解しやすく、解きやすいと思うので、段階を踏んでから挑戦することをオススメします。すきま時間だけでも小問なら数問解けるので、すきま時間を上手く使えば、授業との両立も大変ではなくなると思います。

